

■米国：ロサンゼルス市水道電力局、2045年までに100%水素へ

2019年12月12日付の業界紙によると、カリフォルニア州のロサンゼルス市水道電力局（LADWP：Los Angeles Department of Water and Power）は12月10日、LADWPが運営するユタ州のIntermountain石炭火力発電所（出力180万kW：LADWPが同発電所電力の49%を購入）を2025年までにガス火力（出力84万kW）にリプレースし、転換後、当初は水素を30%混焼できるようにする計画を発表した。さらに2045年までには世界初の、電気分解で生成した水素を100%燃料とした発電を行う。カリフォルニア州の2045年までに100%クリーンエネルギーとする目標を達成するために必要な計画であるとしている。